

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	消防水利整備事業						担当部	消防本部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系		担当課	消防総務課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	庶務係		
	総合計画 分野別計画	主目的	1 安全・環境		3 消防・救急		1 消防・救急体制を強化します				
		副目的									
	予算区分	款	9	項	1	目	3	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	消防組織法、消防法、消防水利の基準(消防庁告示)									
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	消防水利を効率的に整備及び維持管理し、消防水利の充実を図ることにより、消火活動に支障が出ないようにする。									
	内容 (手段)	<p>◆平成25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防水利の不足する地域に、耐震性貯水槽又は消火栓等の水利を整備する。 (耐震性貯水槽設置工事:4,217千円)</li> <li>消火活動時に支障がないように現状の水利の維持管理をする。</li> <li>各消火栓及び防火水槽は年間2回の機能点検を実施し不具合があれば直ちに修理をする。</li> <li>消火栓ライン標示塗装の剥がれている箇所の再塗装を行い、迅速な消火栓部署に努める。</li> </ul> <p>◆平成25年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消耗品費(220千円)</li> <li>修繕料(777千円)</li> <li>貯水槽撤去設計委託料(840千円)</li> <li>消防水利整備工事費(5,730千円)</li> <li>消火栓設置負担金(15,160千円)</li> <li>消火栓修繕費負担金(5,750千円)</li> </ul> <p>◆平成26年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容については、平成25年度と同様に実施する。</li> <li>消耗品費(300千円)</li> <li>修繕料(1,329千円)</li> <li>消火栓設置負担金(23,040千円)</li> <li>消火栓修繕費負担金(7,330千円)</li> </ul>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	21,077	20,611	28,477	31,999	
		正職員	従事者数	人	0.40	0.40	0.40	0.40
			人件費	千円	2,104	2,104	2,104	2,104
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	23,181	22,715	30,581	34,103	
対前年比		%		97.9	134.6	111.5		
財源	一般財源	千円	23,181	22,715	26,673	34,103		
	国・県支出金	千円	0	0	2,108	0		
	その他財源	千円	0	0	1,800	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	消火栓総数(維持管理数)	基	目標	1,706	1,710	1,714
実績				1,688	1,693	1,703	
防火水槽総数(維持管理数)		基	目標	343	342	343	342
			実績	341	341	342	
			目標				
			実績				
業	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	消火栓総数(維持管理数)	基	目標	1,706	1,710	1,714	1,709
実績			1,688	1,693	1,703		
	防火水槽総数(維持管理数)	基	目標	343	342	343	342
			実績	341	341	342	

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	消防力の整備指針に基づき、概ね計画的に消防水利の設置、維持管理を進めることができています。				
		事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防水利の不足する地域に耐震性貯水槽、消火栓等の水利を整備する必要があるが、設置する場所の確保が困難である。</li> <li>消防水利等の経年劣化により修繕が必要である。</li> </ul>				
		事業を縮小・廃止したときの影響	事業を廃止することにより、火災をはじめ震災等の災害発生時の消防活動等に支障を及ぼすおそれがある。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	現状どおり事業を継続し、消防署との連携を強化し消防水利の設置及び維持に努める。 平成26年度は消火栓6基を新規設置するほか、区画整理、道路改良工事等の際に消火栓の設置を要望する。				
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	現状どおり事業を継続することにより、消防水利の維持管理ができ、円滑な消防活動につながるため。					
	27年度以降の改善案	消防署との連携を強化し設置位置等について検討し、計画的(用地確保等を含め)に耐震性貯水槽及び消火栓の設置を進める。 定期的な消防水利の点検を行い維持管理を行う。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
		維持